

チュートリアル課題 症状は良くなったけど

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032232

2013年度 Block. 5

課 題 No.4

課題名：症状は良くなったけど

課題作成者：膠原病リウマチ痛風センター 勝又康弘



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

M子さんは、高校生の女性です。テニスが得意で中学生の時に全国大会に出場し、高校はテニス強化選手として推薦で進学しました。高校入学後もテニス部のエースとして、毎日練習にはげんでいます。しかし5月ころから、屋外で練習をした後、顔面を中心に皮疹が出ることに気がつきました。露出した部分には水疱を伴っているところもあります。また、微熱が続き、最近疲れやすいと思うようになりました。

シート2

口の中を嚙んだりしたわけでもないのに口内炎ができ、手足の関節の痛みやこわばりもあります。最近、爪の周りの皮膚が赤くなっていることにも気がつきました。

シート3

M子さんは、心配したお母さんに連れられて、近くの内科医院を受診しました。受診時、顔面を中心に紅斑が認められ、頭部の脱毛もみられました。少し動くと息切れもあるようでした。血液検査と尿検査、胸部X線検査を受けました。その結果、診察した医師から至急専門医を受診するように言われました。

シート4

Mさんは紹介状をもって大学病院の膠原病リウマチ内科を受診しました。担当医は病歴を聞き、紹介状の内容を確認し、ひととおり診察しました。そして、M子さんとお母さんに、詳しい検査と、おそらく引き続いての治療のための、比較的長期の入院が必要であると説明しました。しかしMさんは、学校を休まなくてはならないので入院はできればしたくないと思いました。

シート5

両親の強い勧めもあり、M子さんは入院していろいろな検査を受けました。蛋白尿・血尿の診断・鑑別と治療方針選択の参考とするために、腎生検も受けました。その結果、病理組織で特徴的な病的変化がみられました（資料6）（採取糸球体の50%以上に同様の組織像が認められました）。

診断が確定され、担当医から病気と治療方針の説明を受けました。M子さんは自分の将来に対して不安になりました。お母さんはM子さんの前では口には出しませんが、M子さんが普通に結婚して妊娠もできるのか心配しています。

シート6

ステロイドと免疫抑制薬を用いた治療が開始されました。発熱や全身倦怠感は治療後すぐに治まり、皮疹も徐々に消失しました。検査所見も徐々に改善し、担当医にも経過は順調ですと言われました。ステロイドの漸減も始まり、退院の日が近くなりました。しかし、退院後も定期的な外来通院の必要があり、またM子さんはテニスが今までどおりできるかどうか心配しています。